

## 「(仮称) まちだユニバーサル社会推進計画 (第3次町田市福祉のまちづくり推進計画)」 の策定の方向性について

### 1 計画策定の目的

町田市では、1993年に制定した「町田市福祉のまちづくり総合推進条例」(以下、「条例」という。)に基づき、第1次及び第2次「町田市福祉のまちづくり推進計画」を策定し、市内施設のバリアフリー化などのハード事業や心のバリアフリーなどのソフト事業等、福祉のまちづくりを進めてきました。一方で、国は「ユニバーサル社会実現推進法」で「ユニバーサル社会」の実現を地方公共団体に求めています。そのため、市は全国に先駆けて要綱を制定し、市民にとって住みやすい福祉のまちづくりに努めてきた歴史や理念、取組は継承しつつ、新たに災害対策を加えた「ユニバーサル社会」の実現に向け、計画名を「(仮称) まちだユニバーサル社会推進計画 (第3次町田市福祉のまちづくり推進計画)」(以下、「第3次計画」という。)に変更し、計画策定を進めます。

### 2 計画の位置付け

本計画は、条例に基づき、福祉のまちづくりを推進する基本の計画です。第2次計画までは理念計画と実行計画の両方を兼ね備えた計画でしたが、2022年3月に策定した福祉の各分野の上位計画である「町田市地域ホッとプラン」と第3次計画は「全ての人が自分らしく暮らすことができるまちを目指す」という理念を共有するものとして、「町田市地域ホッとプラン」を理念計画、第3次計画をその実行計画に位置付け策定します。

### 3 計画の期間

2022年度から2026年度までの5年間

### 4 計画策定に当たっての課題

国や都の動向、「福祉のまちづくり市民アンケート」(2020年8月実施)及び町田市福祉のまちづくり推進協議会の外部評価(2021年11月実施)から、課題を3点整理しました。

#### 【課題1】ユニバーサルデザインによる施設整備の促進

協議会の外部評価では、車椅子利用者対応トイレは十分な広さの確保が必要であるという意見や、バリアフリー基本構想において、施設等のハード整備のみならず、心のバリアフリー等のソフト面の取組も必要であるという意見がありました。より一層のユニバーサルデザイン化や、ハード事業にソフト対策を盛り込む新たな施策に取り組む必要があります。

#### 【課題2】心と情報のユニバーサルデザインにおける更なる周知・啓発

「移動等円滑化の促進に関する基本方針」では、心のバリアフリーという用語の認知度を約50%とする目標を定めています。市民アンケートによる町田市の心のバリアフリーの認知度は約30%台前半となっており、更なる周知・啓発が必要です。また、協議会の外部評価では、デジタル化に対応すべき意見があり、第3次計画においてデジタル化に係る取組が求められています。

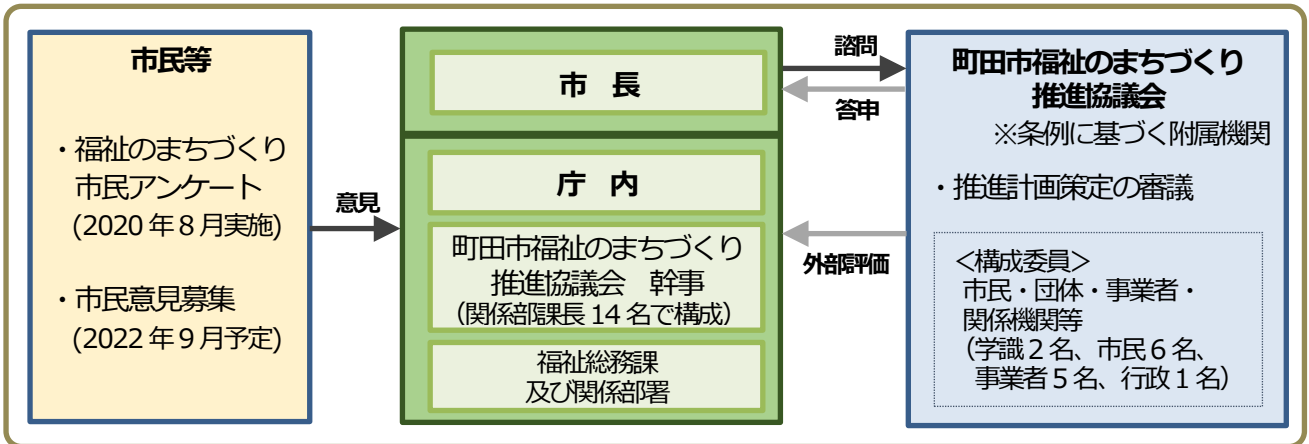
#### 【課題3】ユニバーサルデザインの観点によるいざという時の備え

主に高齢者、障がい者及び子育て世代を対象とした市民アンケートにおいて、「災害時に不安なことは何か」の問いに対し、「避難施設での生活」が最も多い回答でした。高齢化や障がい者数が増加する中、全国的に頻発する災害に対応するため、新たに高齢者、障がい者及び子ども等に配慮したユニバーサルデザインの観点による災害対策を実施する必要があります。

## 5 計画策定の方向性

	ハード事業	ソフト事業
ユニバーサルデザイン 日常生活における	<p><b>【課題1】</b> ユニバーサルデザインによる施設整備の促進</p> <p><b>【方向性①】</b> 全ての人安心して移動や利用できる施設・都市基盤が整備されたまち</p> <p>車椅子利用者対応トイレの拡張等、より一層の施設整備に取り組みます。 また、心のバリアフリー等のソフト対策を、バリアフリー基本構想に追加し、ハード対策とソフト対策を一体的に推進します。</p>	<p><b>【課題2】</b> 心と情報のユニバーサルデザインにおける更なる周知・啓発</p> <p><b>【方向性②】</b> 全ての人情報の発信や共有ができ、互いに心の通い合うまち</p> <p>これまで以上に学校と連携した、新たな心のバリアフリーの普及・啓発を行います。 また、デジタル化に対応した情報のユニバーサルデザインに係る新規事業に取り組みます。</p>
ユニバーサルデザイン いざという時に備える	<p><b>【課題3】</b> ユニバーサルデザインの観点によるいざという時の備え</p> <p><b>【方向性③】</b> 全ての人互いに支え合う災害に強いまち</p> <p>発災時には避難拠施設としての機能を有する学校のバリアフリー化や、年齢や障がいのあるなしに関わらず、多くの人利用可能な備蓄食料の整備等、ハード面のユニバーサルデザインに取り組みます。 また、避難行動要支援者の個別避難計画作成や、避難時に高齢者や障がい者へのサポート方法の周知等、ソフト面の災害対策にも取り組みます。</p>	

## 6 計画策定の体制



## 7 今後の主なスケジュール

日程	内容	
2022年度	8月	第11期第4回町田市福祉のまちづくり推進協議会（計画素案及び市民意見募集）
	9月	行政報告（計画素案に係る市民意見募集）、市民意見募集実施
	10月	計画案の最終調整
	11月	第11期第5回町田市福祉のまちづくり推進協議会（市民意見募集実施結果及び答申）
	12月	計画策定、行政報告（市民意見募集実施結果及び計画策定）